

北海道とシルクロード

— 北海道開発政策の経験を活かした中央アジア地域への 国際貢献のあり方に関する共同研究 —

釧路公立大学地域経済研究センターでは、北海道が地域の経験を活かした国際貢献、国際協力のあり方を探るため、2002年度から財団法人北海道開発協会からの委託を受け「北海道開発政策の経験を活かした中央アジア地域への国際貢献のあり方に関する研究」に取り組んできました。

中央アジアは、日本にとってはシルクロードのイメージで、異境の地としての歴史的、ロマン的な対象にとどまりがちな国々ですが、旧ソ連邦崩壊後は、計画経済から自由主義経済への移行を図りながら国づくりに向けての模索を続けており、日本の戦後経済復興の経験に対しては大変高い関心を持っています。また、中央アジア諸国は、歴史的、宗教的また民族的な背景の違いによる複雑な課題も抱えています。一方、北海道が有する、総合的、計画的に進められてきた開拓、開発の経験の中には、中央アジア諸国の今後の国づくり、地域づくりにとっても有用なものが少なからずあります。このような問題意識のもとで、地域経済研究センターは国際協力機構(JICA)の協力を得て、3カ年にわたってより実践的なアプローチによる調査研究を進めてきましたが、このたび研究報告書が完成しましたので、研究成果の報告会を開催します。

《 報告者 》

小磯修二（釧路公立大学教授、地域経済研究センター長）
渡辺信（釧路公立大学地域経済研究センター客員研究員）

とき：2005年8月10日（水）午後6時～7時半

ところ：釧路公立大学 2階 202視聴覚室
（釧路市芦野4丁目1番1号 電話 0154-37-5325）

（お問い合わせ先） 釧路公立大学地域経済研究センター

電話 0154 (37) 5325 ファクシミリ 0154 (37) 5376

メールアドレス r-center@kushiro-pu.ac.jp